

平成21年度 第2回定例社会教育委員会議事録（議事要旨）

1 開催日時 平成21年7月16日（木）午後2時～3時30分

2 開催場所 浦安市文化会館 3階 中会議室

3 出席者

（委員）

舟田委員長、杉山副委員長、高橋委員、小池委員、和田委員、羽藤委員、井上委員、工藤真由美委員、宮本委員、工藤宣延委員

（事務局）

教育長、教育次長、生涯学習部長、生涯学習部次長、生涯学習部副参事（運動公園施設整備担当）、生涯学習課長、視聴覚ライブラリー館長、郷土博物館長、青少年センター主幹、市民スポーツ課長、市民スポーツ課ゆめ半島千葉国体推進室長、中央公民館長、富岡公民館長、美浜公民館長、当代島公民館長、日の出公民館長、中央図書館長、生涯学習課副主幹、同生涯学習係

4 議題

（1）前回会議内容の確認

（2）協議事項

1）社会教育関係団体の認定について（2件）

（3）報告事項

1）平成21年度 学校・地域連携推進事業活動補助金の交付について

2）平成21年度 視聴覚ライブラリー自作教材制作員について

3）ゆめ半島千葉国体リハーサル大会（第40回関東空手道選手権大会）について

（4）その他

1）浦安市青少年問題協議会委員の推薦について

2）浦安市第2期基本計画第1次実施計画事業における「学校評価推進事業」の検討委員の推薦について

3）葛南地方社会教育連絡協議会視察研修について

4）浦安市子ども情報紙「このゆびとまれ」夏号について

5）浦安市教育フォーラムの開催について

6）次回会議日程について

5 議事概要及び会議経過

開会前に、委嘱状の交付及び自己紹介を行った。

また、正・副委員長の選出について、互選により、委員長に舟田委員、副委員長に杉山委員が選出された。

（1）前回会議内容の確認

平成21年度第1回定例社会教育委員会議事録（議事要旨）の内容を確認した。

（2）協議事項

1）社会教育関係団体の認定について（2件）

生涯学習課長より概要を説明し、「高洲北小学校PTA」の認定を承認した。

また、「REVE URAYASU JUNIOR」については、保留とした。

委員からの質問及び意見は、次のとおりである。

高洲北小学校PTA

(質問) 他校のPTAも認定を受けているのか。

(回答) 各単位PTAについては、個別に認定を受けているほか、市内のPTA連絡協議会も認定を受けている。

(意見) 既に認定を受けている団体の名称や活動内容等を教えてほしい。

(回答) 後ほど資料を配付する。

REVE URAYASU JUNIOR

(質問) 1点目は言葉の使い方であるが、このチームはジュニアを対象としている。12歳までの小学生を対象とし、中学生以上については小学生までに入会した人については継続を認めるとしている。申請理由には「青少年健全育成」とあるが、青少年とはもっと幅が広がる。言葉遣いが乱暴であるが、よいのか。

2点目は、21年度の予算書で講師謝礼金の金額が非常に高い。資料を見たところ、監督が講師である。この講師は卓球のレッスンをする会社を設立しており、HPを見るとレッスン料が一時間1万円で10人で一区切りと、非常に高額である。10人一区切りでやっていると、会員が増えるほど出費がかさむことになり、継続的な運用は大丈夫なのか。もう1点は、この講師はプロであり、HPを見ると競技力の向上が中心の方である。認定団体として見ると、小さなお子さんを相手にしているので、ものの考え方やスポーツを楽しむという観点でどうなのかが気になる。

3点目は、この団体は浦安市の卓球連盟に加盟している。卓球連盟には体育協会から補助金が出ているので、これと重複しないのか。こうした団体を承認すると、学童部や学童部に所属する野球チームなどもすべて承認対象になる。認定の要件は満たしているので、その辺の基準を設けないと、どんどん枠が広がってしまうのが心配である。

(回答) 1点目については、小学生から引き続きということもあるので、青少年にジュニアも含めた使い方をしていないかと思う。

2点目については、団体によると、昨年度は12月からこの講師に依頼しており、謝礼金は1ヶ月2万5千円ずつ支払っている。今年度についても、これに基づき12ヶ月分で30万円。また、大会等の引率代も含めて、全部で43万円ということである。ご指摘のあった10人単位で1万円という点は確認していないので、再度確認したい。

3点目については、少年野球の学童部も認定を受けている。

(質問) 講師謝礼金の上限の基準はどの程度か。

(回答) 認定のガイドラインとして、講師謝金は1回あたり1万5千円を上限としている。月に2万5千円で2回以上の練習をしているので、これを下回っている。

(意見) 監督なので、特別な契約をしているのではないか。

(意見) 会費が月3,000円というのも高額ではないか。なるべく安くしていただくとありがたい。

(質問) 主たる練習会場が青少年交流活動センターであるが、認定を受けると、使用料の減免を受けることができるのか。

(回答) 青少年交流活動センターは、減免の対象ではないが、青少年団体の利用については無料である。

(意見) 認定された際に、どのように市民にそれを還元しようとしているのか、方向性を聞いてほしい。

(質問)卓球の団体は他にあるのか。

(回答)子どもの団体はないが、健康の増進を目的として各公民館の体育館や集会室で活動している団体はある。

(事務局)ご指摘があったことについて確認し、次回再度協議とさせていただきます。

(3) 報告事項

1)平成21年度 学校・地域連携推進事業活動補助金の交付について
生涯学習課長より報告した。

委員からの質問及び意見は、次のとおりである。

(質問)活動の資金の一部を補助しているのか。補助額の上限等はどうか。

(回答)活動費の一部を補助している。運用基準により、上限額は1事業につき15万円としている。今年度の予算額は120万円で、申請額の72%に相当する額を交付しており、総額は111万8千円である。

(質問)20年度の決算額と件数は資料としてあるか。

(回答)後ほど資料を配付する。

(質問)11番の事業内容がよく分からないが、どのようなものか。

(回答)安心・安全と経済ということで、企業への調査や、北海道の豆の販売体験などを、小中学生が地域の大学生と一緒にやる内容である。以前にも別のテーマで小中学生を対象とした活動を行っている。

(質問)企業への調査結果は、こちらのほうに報告されるのか。

(回答)事業終了後、実績報告書を提出してもらう。

(質問)土曜日の子どもたちの居場所づくりとして行われているということだが、実際の参加者数や割合などの統計はあるか。

(回答)事業によっては複数の活動をしていたり、市民まつりに参加する事業などもあり、具体的な統計は取っていない。

(意見)親子の問題で土曜日の居場所づくりは重要であるが、団体がボランティア的に行うとなると、小さなサークル的な活動になりがちである。全体像で見て、どの子どもも来やすいシステムづくりを行政がリーダーシップをとってやっていくと、もう少し広がると思う。

(教育長)この事業は平成14年度から始まり、今年で8年目になるので、意見を伺いながら改善していきたい。参加者数については、2・5・6・8番については、各小学校の父親の会の活動であり、学校の全児童が対象となる。7番については、30~40人の子どもたちが体操をしている。12番については、定員を20人としている。事業によって対象者数が異なるため、統計的な数字は出しづらいことをご理解いただきたい。

2)平成21年度 視聴覚ライブラリー自作教材制作員について
視聴覚ライブラリー館長より報告した。

3)ゆめ半島千葉国体リハーサル大会(第40回関東空手道選手権大会)について

市民スポーツ課ゆめ半島千葉国体推進室長より報告した。

委員からの質問及び意見は、次のとおりである。

(質問)浦安市からは何人が出場するのか。

(回答)選手については、県で選抜するものであり、浦安市から出場する選手がいるかは把握していない。

(質問)来年度の国体には何人くらいが参加するのか。

(回答)47都道府県から各7~10名程度が出場する。全部で約450名が来

る予定である。

(4) その他

- 1) 浦安市青少年問題協議会委員の推薦について
協議により、杉山副委員長を推薦することとした。
- 2) 浦安市第2期基本計画第1次実施計画事業における「学校評価推進事業」の検討委員の推薦について
協議により、工藤真由美委員を推薦することとした。
- 3) 葛南地方社会教育連絡協議会視察研修について
生涯学習課長より、研修の開催予定について説明した。
- 4) 浦安市子ども情報紙「このゆびとまれ」夏号について
生涯学習課長より、内容を説明した。
- 5) 浦安市教育フォーラムの開催について
生涯学習課長より、内容を説明した。
- 6) 次回会議日程について
事務局より、次回の会議予定について報告した。

以 上